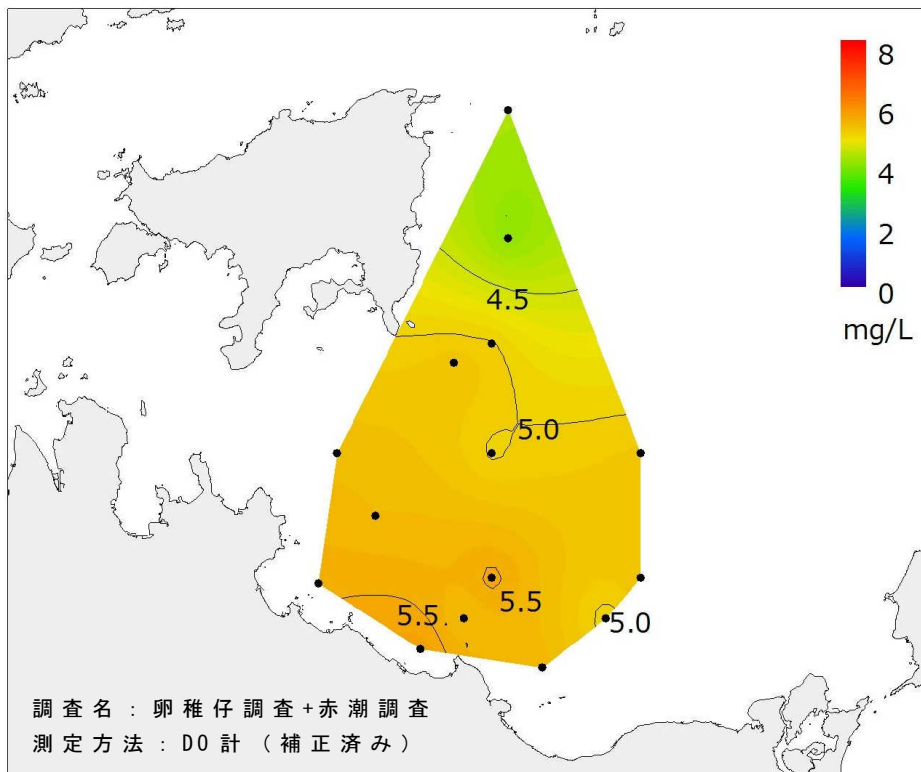


播磨灘貧酸素情報（第 5 号）

香川県水産試験場

9月16日観測結果

底層の溶存酸素濃度（DO）は北部でやや低下していますが，全般に高い状態を維持しています。ごく弱い成層が残っているものの，間もなく鉛直混合が始まると考えられるため，今後貧酸素化する可能性は極めて低いと思われます。



底層の溶存酸素濃度分布

溶存酸素濃度（DO）の目安*

溶存酸素濃度	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。